

「ステージアップ 稲沢」をスローガンに



私たちのまち・稲沢市は、新しいまちづくりの指針として、『第6次稲沢市総合計画』を策定いたしました。

今回の総合計画の開始年度は市制60周年を迎える記念すべき年度です。計画期間の終期には、リニア中央新幹線の名古屋－東京・品川間の開業という新たな時代の幕開けが予定されており、本市を含む名古屋圏周辺にはリニアインパクトの波及が期待されます。しかし、その一方では、本市の将来人口は減少し、少子化・高齢化が進展すると予測され、まちの活気が失われることや財政運営への影響が懸念されます。

これからの厳しい時代を本市が生き抜くためには、「将来を見据えて今どのような取り組みが必要か」、「稲沢市の強みは何か、またはどのような強みをつくるか」といった視点に基づくビジョンを市全体で共有し、それに基づいた一貫性のある行政運営を行うことが不可欠です。そうした今後の本市行政の方向性やビジョンを明らかにするのが、この総合計画です。

科学技術の進歩などにより、次の10年間は、一世紀前であれば50年以上に相当する程の大きな変化があると思われます。厳しい時代の中、今後の社会状況の変化に対応していくには、「常に今よりも一つ高い次元を意識したまちづくり」に取り組む必要があります。その気概を表すため、今回の総合計画に『稲沢市ステージアッププラン』という名称をつけました。「ステージアップ 稲沢」をスローガンに、市民の皆様とともに新たな魅力ある稲沢市を目指してまいりたいと考えております。

最後に、この計画の策定にあたりまして、多くのご意見をいただきました市民の皆様、ご多忙のところ熱心にご審議をいただきました総合計画審議会委員の皆様並びに市議会議員の皆様をはじめ、ご協力くださいました関係各位の皆様には厚くお礼申し上げます。

平成30年1月

稲沢市長 加藤 鏡司 部